

平成 20 年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成 15 年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	CO2削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)
	再評価時点 H15	切通川 広域基幹河川改修事業 事業主体：県 事業地： 千代田町 三根町 北茂安町 上峰町 中原町	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 110m3/s 計画治水安全度 1/30	全体事業費：C=100億円 工期：S50~H25 改修延長：L=11,200m 計画流量：110m3/s 計画治水安全度：1/30 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管46基、橋梁13基、堰8基	用地買収については、上流部を残しほぼ完了している。 下流部の改修は概成し、中流部の改修促進を図っているところである。 国道264号の本分橋他5橋完成 (H14末進捗率 65%) (事業費ベース) (年平均進捗率 2.3%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 127戸 農地浸水面積 270ha (地域の状況) S54以降、下流から上流にかけて圃場整備が行われ、H8に完了している。	事業採択時と比較し、単価上昇等により事業費が増大したが、流域内の人口増等による資産増加もあり、費用対効果の大きな変化はないと考えられる。 現在(B/C) 1.5	(コスト削減策) 土工事において、建設発生土の利用促進を行う等により、コスト削減を図る。	再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H20	事業地： 神崎市 みやき町 上峰町		前回評価時より事業費が増額となった。 全体事業費：C=130億円 工期：S50~H35 改修延長：L=11,200m 計画流量：110m3/s 計画治水安全度：1/30 事業内容：掘削・築堤 護岸、樋管46基、橋梁13基、堰8基	用地買収については、上流部を残しほぼ完了している。 下流部の改修は概成し、中流部の改修促進を図っているところである。 国道264号の本分橋他10橋完成 (H19末進捗率 75%) (事業費ベース) (年平均進捗率 2.3%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) S54以降、下流から上流にかけて圃場整備が行われ、H8に完了している。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 一般資産被害額 農作物被害額 公共土木施設等被害額等 B=143,038百万円 総費用額 C=23,433百万円 現在(B/C) 6.1	(コスト削減策) ラバー堰の積極的採用を行う等によりコスト削減を図る。 土工事において、建設発生土の利用促進を行う等により、コスト削減を図る。	再々評価実施後5年が経過	昭和47年、平成2年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等				・鋼材単価の高騰による工事費の増。 ・河川構造物の耐震検討に関する新たな指針による構造物の検討及び工事費の増。 ・河床掘削土の運搬距離増による処分費増。 ・行財政改革等の予算削減を受け年度事業費が減となったことによる工期延長。					

